

研究課題

悪性末梢神経鞘腫瘍の治療成績に関する多施設共同研究の情報公開

1. 研究の対象

当院で治療された悪性末梢神経鞘腫瘍の患者さん

2. 研究目的・方法

悪性末梢神経鞘腫瘍は筋肉や脂肪、神経などの軟部組織に発生する悪性腫瘍（肉腫）の一つです。遺伝的な背景がなく発生する場合と、良性の神経線維腫が体に多発する神経線維腫症1型を背景として発生する場合があります。適切に治療できれば治すことも可能ですが、条件によっては生命予後が不良であることも経験されます。しかし本邦の整形外科分野においてその臨床像および治療成績の解析は進んでいません。本研究の目的は、日本全国の軟部腫瘍専門施設からデータを収集する多施設共同研究として、①本邦における悪性末梢神経鞘腫瘍の臨床的特徴と治療法、生命予後について調べ、②本邦の悪性末梢神経鞘腫瘍の治療成績を海外の報告と比較検討することです。当院で過去に診療を受けた悪性末梢神経鞘腫瘍患者の診療情報を診療録と画像から抽出します。神経線維腫症1型をもつ患者さんに関して、既存の神経線維腫の経過、悪性化の様式を含めた臨床像も分析します。研究期間は承認されてから2022年12月31日までを予定しています。この研究は、すでに治療が終了した患者さんの診療録を後ろ向きに分析する研究であり、患者さんに新たな治療を試したり、研究のために血液などを新たに採取する研究ではありません。したがって研究に関する健康被害の発生はありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から年齢、性別、既往歴、腫瘍のサイズ・発生部位、悪性度、他の悪性腫瘍の有無、既往歴、前医切除歴、神経線維腫症1型の有無、その診断時期、画像診断、全身サーベイランスの有無とその方法、手術の有無、術式、切除縁、補助療法、治療法、生命予後

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

JMOG (Japan Musculoskeletal Oncology Group) 参加施設

HP リンク参照 (<http://imog.jp/map/index.html>)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2 杏林大学医学部 整形外科

電話 0422-47-5511 内線3622

当院における 研究責任者 研究代表者：

杏林大学医学部整形外科 臨床教授 森井健司

-----以上